

中学生向け硬式野球チーム 「桐南ポニー」誕生 健康に配慮し指導「選手ファースト」のリーグ / 群馬

地域 | 群馬

毎日新聞 | 2023/3/28 地方版 有料記事 638文字

球都・桐生で4月、新たな中学生向け硬式野球チーム「桐南（きりなん）ポニー」が誕生する。活動拠点は桐生西高との統合によって閉校になった旧桐生南高グラウンドで、同校の敷地を取得したオープンハウスグループ（東京都千代田区）が進める跡地活用プロジェクトの第1号。

2月に入団説明会があり、チームを運営する一般社団法人「桐生南スポーツアカデミー」代表理事を務める荒木重雄・ノッティングヒル社長は約50組の親子を前に「野球を通して成長期の中学生を見守ることが主眼。勝利至上主義で選手に無理をさせるようなチーム運営はしない」と概要を説明した。

ポニーリーグは、選手ファーストを基本理念に掲げるアメリカ発祥の少年リーグ。第5回ワールド・ベースボール・クラシック（WBC）で優勝した日本代表を率いた栗山英樹監督もポニーリーグ出身だ。チームは子どもの健康に配慮した指導を徹底し、選手の能力を最大限に伸ばすため全員が試合に出られるようチーム編成は最大12人とし、投手の投球数制限や「バント、サイン禁止」もある。県内では太田翔洋ポニー、館林慶友ポニーに続き3チーム目。

監督には大阪桐蔭高の主力選手だった謝敷（しゃしき）正吾さん（34）が就任。謝敷監督は「皆さんには無限の可能性がある。自らの努力でチャンスを大きく広げてください」と話した。荒木さんは「初心者も経験者も大歓迎。今までの野球の常識や概念は切り替えて、出場チャンスが多い桐南ポニーで自分自身を磨き、活躍してほしい」と語った。【大澤孝二】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.